

生活と社会 (Living and Society)

国際政治学入門 (Introduction to International Politics)

饗場 和彦・教授/大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

2単位 後期 金 9・10

(平成 19 年度以前の授業科目:『生活と社会』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『政治学』)

【授業の目的】 「一種のチーズの臭いか…」, 人間の死臭をどうたとえていいか思索しながら, 死体を見回した. 部屋いっぱいには'展示'してある遺体は白くミイラ化していた. 次の部屋には子供のなきがらばかり横たわる. アフリカのルワンダでは, 1994 年の 4 月から 6 月にかけて, フツとツチの二つのグループがからむ対立で約 80 万人が殺害された—(饗場和彦「虐殺から六年 和解と対立に揺れるルワンダ」『世界』2000 年 10 月号より引用). 世界のあちこちで依然, 紛争が絶えない. この授業では戦争, 平和の問題を中心に, 国際社会, 国際政治について関心と問題意識を高め, 基本的な知識を得ることを目的とする.

【授業の概要】 国際社会の基本的な仕組み, 特徴などを概説した上で, 具体的な問題を取りあげて考察する. 筆者はルワンダやボスニア, コソボ, 東ティモール, カンボジア, ミャンマー, パレスチナ, グアテマラなどの紛争地を歩き, 2001 年 9 月にはニューヨークでテロに遭遇. 02, 04 年はアフガニスタンで調査を行った. 授業ではこうした現場の視点を取り入れ, 臨場感のある解説を試みる. ビデオやスライドなども多用し, 2 週間で一つのテーマを扱う. テーマごとに受講者からの質問や意見を集め, 講義中にそのフィードバックも行う.

【キーワード】 国際政治, 戦争, 紛争, 平和

【関連科目】 『生活と社会/国際協力論 2 -四国から世界へ 輝く瞳のつくり方-』(0.5), 『生活と社会/政治とメディア』(0.5)

【到達目標】

1. 国際社会の基本的原理, 仕組みが理解できる.
2. 国際社会の平和と戦争の問題について知識を広げる.
3. 国際政治の現実と理想について認識でき, バランスの取れた視点から思考ができる.

【授業の計画】

1. イントロダクション
2. 国際社会の特徴, 原則 —国内社会とどう違う?弱肉強食の世界か(前)—
3. 国際社会の特徴, 原則 —国内社会とどう違う?弱肉強食の世界か(後)—
4. なぜ戦争は起きるか-国連の平和への取り組み(前)
5. なぜ戦争は起きるか —国連の平和への取り組み(後)—

6. 民族紛争の仕組みと実態 —東京と大阪間でも起きる?(前)—
7. 民族紛争の仕組みと実態 —東京と大阪間でも起きる?(後)—
8. ベトナム戦争 —死者 300 万人, やらずに済んだ戦争?(前)—
9. ベトナム戦争 —死者 300 万人, やらずに済んだ戦争?(後)—
10. 日本の戦争と靖国参拝問題 —まず知ること, そして多面的な見方を(前)—
11. 日本の戦争と靖国参拝問題 —まず知ること, そして多面的な見方を(後)—
12. 人間の安全保障と国際協力 —平和のための多様なアプローチ(前)—
13. 人間の安全保障と国際協力 —平和のための多様なアプローチ(後)—
14. 社会問題の考え方再確認 —自立して, 多面的にとらえて, バランスよく考える—
15. 補足と総括

【教科書】 教科書は特に指定しない. 授業中に配布するレジュメや資料にしたがって講義を進める. 参考書などは, たとえば以下の書籍など. 高柳先男『戦争を知るための平和学入門』(筑摩書房, 2000 年, 1200 円), 『新国際関係学がわかる. (AERA Mook)』(朝日新聞社, 1999 年, 1050 円), 池上彰『そうだったのか!現代史』(集英社, 2000 年, 1,700 円), 津守滋『地球が舞台 -国際 NGO 最前線からの活動報告-』(勁草書房, 2002 年, 2800 円), 『グローバル時代の平和学 1~4』(法律文化社, 2004 年, 各 2500 円), 石弘之『子どもたちのアフリカ』(岩波書店, 2005 年, 1700 円), 松村高夫・矢野久『大量虐殺の社会史-戦慄の 20 世紀』(ミネルヴァ書房, 2007 年, 4500 円)

【成績評価の方法】 期末の試験はあらかじめ問題を提示するので, 試験日までに準備し, 当日は持ち込み禁止で解答する. また, 平常点として授業の取り組み姿勢と出席状況を評価する. おおむね試験 50%, 平常点 50%.

【再試験の有無】 有り.

【受講者へのメッセージ】 新聞の国際面の記事はよく読むようにしてください.

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221097>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 饗場 (088-656-7186, aibak@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 木曜日 13:30~ 14:30, 金曜日 14:30~ 16:00. この時間以外でも在室時はいつでも可.)